

# 移住支援金申請の手引き

## 2026 年度版

豊明市  
産業支援課

## 目 次

	頁
1 移住支援金とは .....	3
2 移住元要件 .....	3
3 移住先要件 .....	5
4 支援金の額 .....	7
5 申請書類 .....	8
6 交付の条件 .....	9
7 支援金の返還 .....	9
8 申請の期限 .....	10
9 問合先・申請書の提出先 .....	11

## 1 移住支援金とは

移住支援金とは、東京 23 区（在住者又は通勤者）から豊明市へ移住し、移住支援金対象求人<sup>※1</sup>に就業した方等に、国・愛知県・豊明市が共同で支援金を支給する制度です。

本制度は、次の「2 移住元要件」と「3 移住先要件」の両方を満たす方が対象となります。就業や起業等で移住した方がご利用できます。

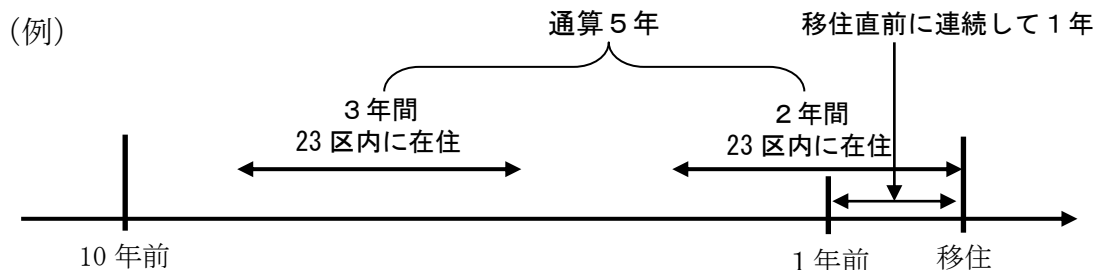
なお、起業で移住された方は、愛知県の「あいちスタートアップ創業支援事業費補助金」の交付決定を受けていることが要件です。手続きに関しては、個別に「9 問合せ先」までお問合せください。

## 2 移住元要件

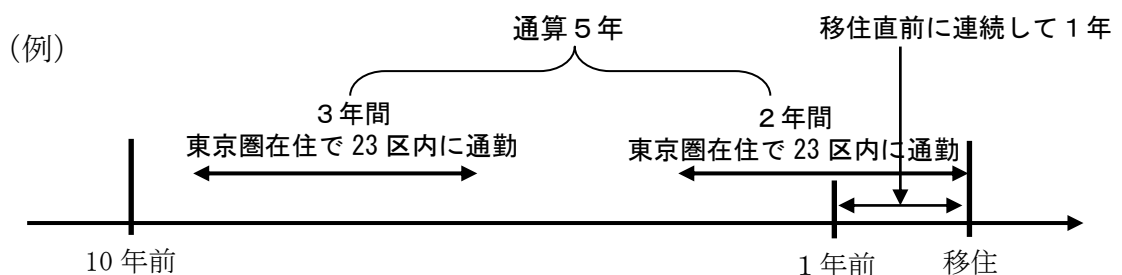
次の（１）と（２）の両方を満たす方

（１） 次のア、イのいずれかに該当すること。

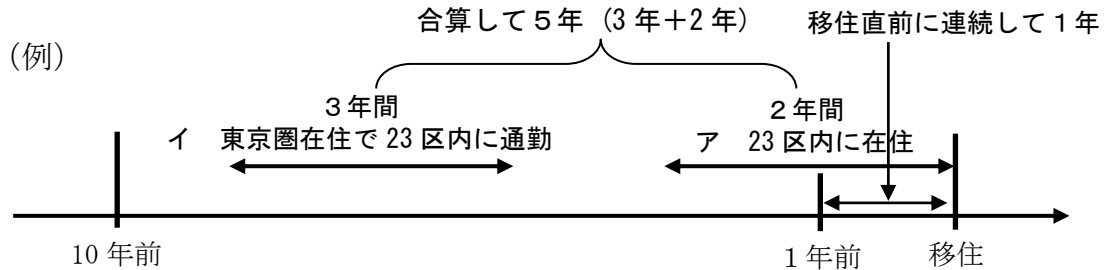
ア 豊明市へ移住<sup>※1</sup>する直前の 10 年間のうち通算 5 年以上かつ移住する直前に連続して 1 年以上、「東京 23 区内に在住していたこと」



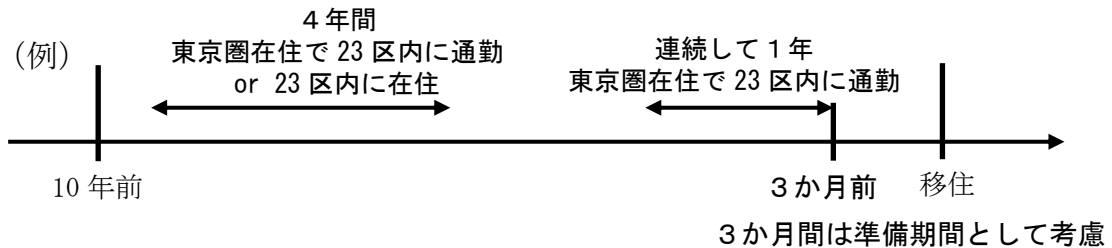
イ 豊明市へ移住する直前の 10 年間のうち通算 5 年以上 かつ 移住する直前に連続して 1 年以上、「東京 23 区以外の東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）のうちの条件不利地域<sup>※2</sup>以外の地域に在住し、東京 23 区内の法人等への通勤をしていたこと」



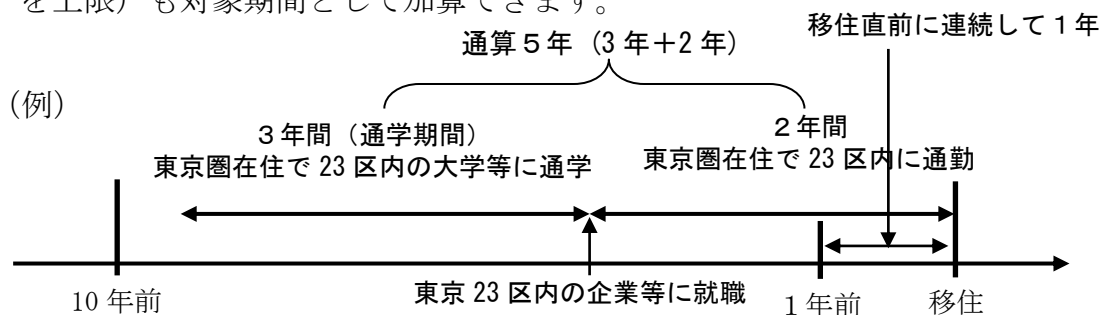
(注1) 「ア 東京 23 区内に在住していたこと」と「イ 東京 23 区以外の東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京 23 区内の法人等への通勤をしていたこと」を合算して、「移住する直前の 10 年間のうち通算 5 年以上 かつ 移住する直前に連続して 1 年以上」を満たしても対象となります。



(注2) 「移住する直前に連続して 1 年以上、東京 23 区以外の東京圏に在住し、東京 23 区内の法人等への通勤」の「1 年以上」の期間については、移住する 3 か月前までを起算点とすることができます。(ただし、3 か月の期間中に東京圏（条件不利地域を除く）から転出している場合は対象外となります。)



(注3) 東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住しつつ、東京 23 区内の大学等へ通学し、東京 23 区内の企業等へ就職した方については、通学期間（修業年限を上限）も対象期間として加算できます。



※1 「移住」とは、住民票を豊明市に異動し、生活の本拠を豊明市へ移すことをいいます。また、移住する直前とは移住先の住民票記載の「転入日」を指します。

※2 「東京圏のうちの条件不利地域」とは、以下のとおりです。

- 東京都：檜原村、奥多摩町、大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村
- 埼玉県：秩父市、飯能市、本庄市、越生町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村、神川町
- 千葉県：銚子市、館山市、旭市、勝浦市、鴨川市、富津市、いすみ市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、栄町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町
- 神奈川県：三浦市、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村

(2) 次のア～エの全てに該当すること。

- ア 暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でないこと。
- イ 日本人である、又は外国人で永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者、特別永住者のいずれかの在留資格を有すること。
- ウ 申請者は、過去 10 年以内に申請者を含む世帯員として移住支援金を受給していないこと。ただし、移住支援金を全額返還した場合や過去の申請時に 18 歳未満の世帯員だった者が、5 年以上経過し、18 歳以上となり、愛知県及び豊明市が認める場合を除く。
- エ その他愛知県又は申請者の居住する市町村が移住支援金の対象として不相当と認めた者でないこと。

### 3 移住先要件

---

次の(1)～(4)のいずれかに該当する方

- (1)『①の要件を満たす移住、かつ、②の要件を満たす就業』
- (2)『①の要件を満たす移住、かつ、③の要件を満たす就業(専門人材)』
- (3)『①の要件を満たす移住、かつ、④の要件を満たす関係人口』
- (4)『①の要件を満たす移住、かつ、⑤の要件を満たす起業』

#### ① 移住に関する要件

次のア、イの両方に該当すること。

- ア 支援金の申請時において、転入後 1 年以内であること(起業で申請する場合は、転入日と起業支援金の交付決定日によって申請期限が決まるのでご注意ください(P10 参照))。
- イ 豊明市に、支援金の申請日から 5 年以上、継続して居住する意思を有していること。

#### ② 就業に関する要件(一般の場合)

次のア～キの全てに該当すること。

- ア 勤務地(就業場所)が豊明市に所在すること。
- イ 転入日時時点で満 50 歳以下であること。
- ウ 就業先が、愛知県又はその他の道府県が移住支援金の対象としてマッチングサイト※3に掲載している求人であること。
- エ 週 20 時間以上の無期雇用契約に基づいて法人等に就業し、かつ、申請時において当該法人等に就業していること。

- オ 求人への応募日が、マッチングサイトに上記ウの求人が移住支援金の対象として掲載された日以降であること。
- カ 就業した当該法人等に、支援金の申請日から5年以上、継続して勤務する意思を有していること。
- キ 転勤、出向、出張、研修等による勤務地の変更ではなく、新規の雇用であること。

※3 「マッチングサイト」とは、愛知県が東京圏の求職者と本県の中小企業等のマッチングを図るため「あいちUIJターン支援センター」のWebページに掲載している「移住支援金対象」求人や、その他の道府県が同様の目的で開設するサイトをいいます。

### ③ 就業に関する要件（専門人材の場合）

プロフェッショナル人材事業又は先導的人材マッチング事業を利用して就業し、次のア～オの全てに該当すること。

- ア 勤務地(就業場所)が豊明市に所在すること。
- イ 週20時間以上の無期雇用契約に基づいて就業し、申請時において就業していること。
- ウ 当該就業先において、移住支援金の申請日から5年以上、継続して勤務する意思を有していること。
- エ 転勤、出向、出張、研修等による勤務地の変更ではなく、新規の雇用であること。
- オ 目的達成後の解散を前提とした個別プロジェクトへの参加等、離職することが前提でないこと。

### ④ 関係人口に関する要件

次のア及びイに該当し、かつウ又はエのいずれかに該当すること

- ア 豊明市への転入日時時点で満50歳以下であること。
- イ 自活できる程度の収入のある農業を営む、又はその見込みがあること。
- ウ 過去に豊明市に居住経験があること。
- エ 豊明市内に所在する大学（学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学（同法第99条に規定する大学院を含む。）及び同法第108条第2項に規定する短期大学をいう。）又は高等学校（同法第50条に規定する高等学校をいう。）に在籍していたこと。

### ⑤ 起業に関する要件

創業支援事業における「起業支援金」の交付決定を受けていること。

## 4 支援金の額

支援金の額は次のとおりです。

区分	支援金の額
単身での移住の場合	60万円
2人以上の世帯※4での移住の場合	100万円
18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合※5	18歳未満の者一人につき100万円を加算

※4 2人以上の世帯については、次のア～エの全てに該当する世帯に限ります。

- ア 申請者を含む2人以上の世帯員が移住する前の居住地において、同一世帯に属していたこと。
- イ 申請者を含む2人以上の世帯員が申請時において、同一世帯に属していること。
- ウ 申請者を含む2人以上の世帯員がいずれも、申請時において転入後1年以内であること。
- エ 申請者を含む2人以上の世帯員がいずれも、暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でないこと。

※5 18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合の加算

- ・子育て加算額は、子供1人当たり100万円です。
- ・18歳未満の世帯員とは、申請年度の4月1日時点において18歳未満の世帯員をいいます(ただし、申請年度の4月2日が18歳の誕生日の場合は対象)。
- ・18歳未満の世帯員は、原則としてどのような続柄であっても対象となりますが、申請者からみて18歳未満の世帯員が配偶者である場合は対象となりません。

## 5 申請書類

支援金の申請に当たっては、次の書類を提出してください。

※申請をご検討の方は、必ず事前にお問い合わせください。

### (1) すべての方が提出

- 愛知県移住支援金支給申請書
- 愛知県移住支援金の支給申請に関する誓約事項
- 口座振込申出書
- 委任状（該当者のみ）
- 写真付き身分証明書の写し  
例：運転免許証、個人番号カード、パスポート等
- 住民票  
※世帯向けの金額を申請する場合は申請者を含む世帯員全員分
- 移住元での住民票の除票（又は、戸籍の附票）  
※世帯向けの金額を申請する場合は申請者を含む世帯員全員分

### <移住先の形態等で該当するものを提出>

#### ① 就業の場合

- 就業証明書、雇用保険の被保険者証

#### ② 関係人口の場合

- 認定農業者、認定新規就農者の認定書の写し又は豊明市農業政策課が同認定に準ずると証する書類（事前に農業政策課にご相談ください）

#### ③ 起業の場合

- 起業支援金の交付決定の写し

### (2) 東京圏に在住し、23区内の法人等への通勤していた方のみ

- 移住元での在勤地、在勤期間を確認できる書類  
例：就業証明書、退職証明書等

### (3) 東京圏に在住し、23区内に通勤していた法人経営者又は個人事業主であった方のみ

- 移住元での在勤地を確認できる書類  
例：開業届出済証明書等

- 個人事業等の納税証明書（移住元での在勤期間を確認するため）

(4) 東京圏から23区内の大学に通学し、23区内の企業等へ就職した方のみ

(注)通学期間を移住元としての対象期間に含める場合のみ

- 在学期間や卒業校を確認できる書類 例：卒業証明書、成績証明書等
- 移住元での在勤地、在勤期間を確認できる書類  
例：就業証明書、退職証明書等

## 6 交付の条件

---

- (1) 支援金の申請日から5年以内に住所の変更があった場合、または支援金の申請日から1年以内に就業先（勤務地）の変更があった場合は、速やかに豊明市に報告してその指示を受けること。
- (2) 支援金に関する報告及び立入調査について、愛知県及び豊明市から求められた場合には、それに応じること。

## 7 支援金の返還

---

次の区分のいずれかに該当する場合は、支援金の全額又は半額を返還していただきます（ただし、雇用企業の倒産、災害、病気等のやむを得ない事情があるものとして豊明市長が認めた場合は対象外となる場合があります）。

(1) 全額の返還

- ア 虚偽の申請等をした場合
- イ 支援金の申請日から3年未満に豊明市から転出した場合
- ウ 支援金の申請日から1年以内に支援金の要件を満たす移住先での職を辞した場合
- エ 就業（一般）及び（専門人材）に該当する受給者の勤務地（就業場所）が、移住支援金の申請日から1年以内に豊明市以外へ変更になった場合
- オ 創業支援事業における「起業支援金」の交付決定を取り消された場合

(2) 半額の返還

支援金の申請日から3年以上5年以内に豊明市から転出した場合

## 8 申請の期限

2026年12月28日（年内市役所最終開庁日）までに申請してください。

※ただし、予算の状況によっては期限を変更する可能性がありますので、申請要件を満たしている場合は、なるべく早めに窓口にご相談の上、申請してください。

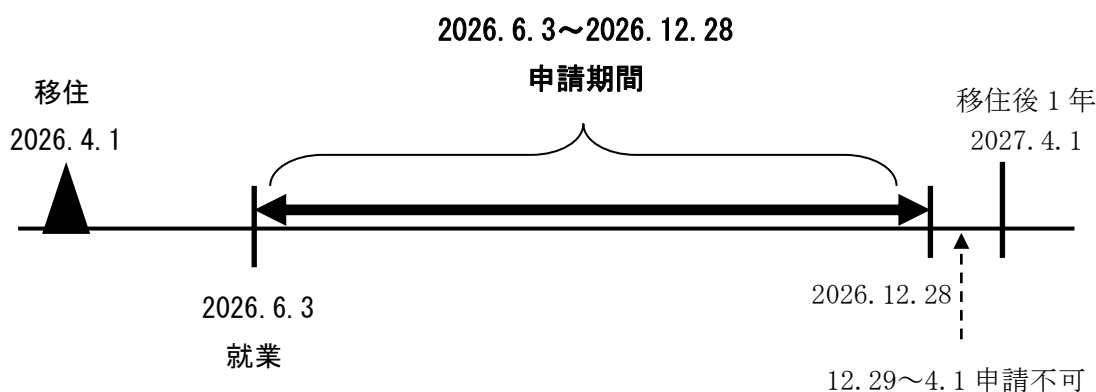
※起業で申請する場合は、転入日と起業支援金の交付決定日によって以下のように期限が決まります。

転入後1年以内であり、かつ以下のa又はbのいずれかに規定する要件を満たしていること。

- a 起業支援金の交付決定日が転入日より先の場合は、起業支援金の交付決定日から1年以内であること。
- b 転入日が起業支援金の交付決定日より先の場合は、起業支援金の交付決定日以後であること。

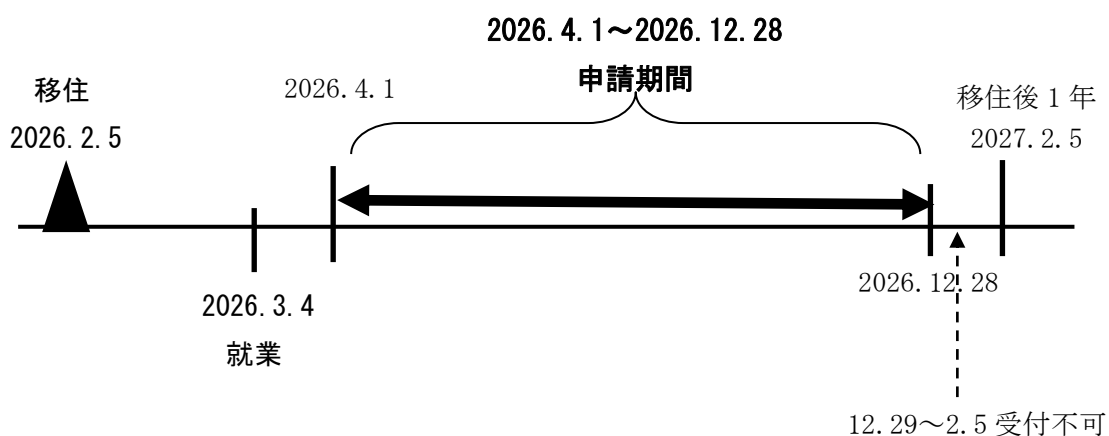
### 【パターン1】

2026年4月1日に移住し、同年6月3日に対象企業に就業した場合



### 【パターン2】

2026年2月5日に移住し、同年3月4日に対象企業に就業した場合



## 9 問合せ先・申請書の提出先

---

豊明市役所 産業支援課

電話番号：0562-92-8332

E-mail：sangyo@city.toyoake.lg.jp

**※申請をご検討の方は、必ず事前にお問い合わせください。**